

漢方と現代病 5

漢方の脾胃・胃腸とその病気



中国漢方医師
医学博士
こう 殿 昌 先生

1963年中国山東省生まれ。85年中国維坊医学院臨床医学部卒業。94年東北大学医学部留学。99年同大大学院にて医学博士号を取得。専門：難病、がんの漢方治療。現在、国際伝統現代結合腫瘍学会(SIO)会員、日本統合医療学会(JIM)会員、日本東洋医学会会員、日本小児東洋医学会会員。

懐仁堂漢方薬局 福島店
<http://www.kajindou.com/>

● 住 所 福島市万世町2-8 P/有り
● 電 話 024-526-2581
● 相 談 日 【要予約】
毎週月曜日、水曜日
● 営業時間 AM10:00~PM6:00
● 定 休 日 日曜日、祝日
● 仙 台 店 ☎022-718-5858
● 山 形 店 移転準備中

今回は漢方の五臓（肝、心、脾、肺、腎）六腑（胃、胆、小腸、大腸、三焦、膀胱）の脾臓と胃腸についてお話しします。

漢方の脾胃と機能

ご存じの通り、西洋医学の胃は重要な消化器官ですが、漢方医学では、五臓の脾臓と六腑の胃、小腸、大腸、さらには唇、口の生理機能まで広く含み、消化器系統を構成しています。脾（胃、腸）は「倉廩の官」と呼ばれ、水穀（飲食物）を消化・吸収し、その栄養素を全身に運びます。脾の機能が弱くなると、食物の栄養素が全身に行き渡らなくなり、食欲不振、消化不良、腹部膨満、腹鳴、下痢などの症状を起こします。また、脾は血液の統轄調整も行っているのので、脾の機能の異常で血色が悪くなり、津液の停滞も起こり、出血やむくみが生じます。例えば、女性では慢性的な月経過多や子宮出血などが起こります。

実は、漢方医学では脾は筋肉・口唇とも関係があります。脾は飲食物の栄養素を全身に送り、筋肉はこの栄養素によって生成

されます。したがって、脾の機能低下や異常が生じると、栄養素は全身に回らなくなり、筋肉の栄養は欠乏し、全身がやせて四肢に力が無くなり、倦怠感があります。また、「脾は口に開孔する」とされ、脾の健康状態は口唇に現れます。脾が正常な場合、口唇は生き生きと赤く、光沢があります。

漢方の脾胃と他の臓器の関係

漢方医学では、五臓はつながって一体となっており、機能活動も相互に協調しているのので、脾胃の病変で他の臓の症状がみられたり、他の臓の病変で脾胃の症状が現れることもあります。脾胃の病変でよくみられる食欲不振、吐き気、嘔吐、下痢、便秘などについても、他臓の機能障害・低下により気血津液の失調が起こった場合に、これらの症状が現れることがあります。例えば、肺脾同病、脾腎同病、心脾同病、肝脾同病があります。高齢者の中には、加齢が原因で胃腸が弱くなり、食欲減退、消化不良や腹張れ、下痢、便秘などの症状があり、胃腸薬を服用してもなかなか改善されない

方が多いでしょう。漢方医学からみると、やはり脾胃だけではなく、同時に他の臓腑も強くすれば様々な胃腸の症状と消化器の病気も改善できると考えます。

潰瘍性大腸炎やクローン病の治療にも

現代社会病と言われている逆流性食道炎、過敏性腸症候群をはじめ、腸の難病の潰瘍性大腸炎やクローン病などは、西洋医学では胃腸だけから治療しますが、漢方医学では脾胃と他臓器の影響関係から、肺臓・腎臓・肝臓も強めることにより様々な胃腸・消化器の症状を改善でき、潰瘍性大腸炎、クローン病も完治へと向かいます。

当薬局の例では、30代の瘍性大腸炎の女性に漢方で下痢、腹痛、血便が改善され、絶望していた妊娠・出産もできました。入院を繰り返していたクローン病の少年は、入院しながら漢方を服用し、様々な症状を改善。検査結果が良くなり、進学校の公立高校に合格しました。

現代の人々は、朝食抜きや遅い時間の晩ご飯、冬でも冷たい物を飲食するなどして、加えてストレスは脾臓と胃腸の機能に悪影響を与え、慢性胃炎、過敏性胃炎、潰瘍性大腸炎などになりやすくなります。正しい食生活習慣は、胃腸の病気を予防法につながるのです。